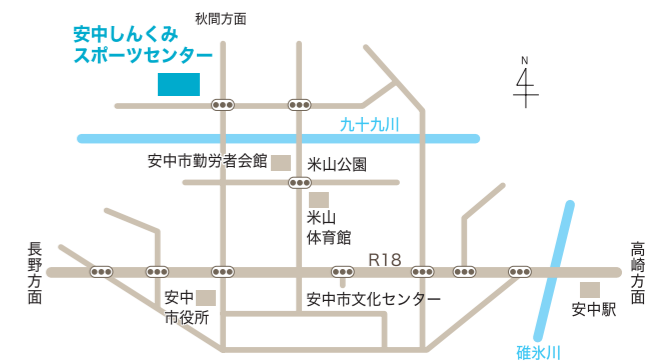


群馬県信用組合がネーミングライツ取得 安中しんくみスポーツセンター



安中市が募集した市スポーツセンターのネーミングライツ（愛称命名権）・パートナーに、群馬県信用組合が決定しました。契約期間は2023年10月1日から2026年9月30日までの3年間。その間、愛称が『安中しんくみスポーツセンター』となります。群馬県信用組合では市民のみさんの体力づくりや市のスポーツ振興を支援し、より親しんでいただける金融機関をめざしていきます。



DATA

屋内施設

- 1階 アリーナ
 - バスケットボールコート…2面
 - バレーボールコート…3面
 - バドミントンコート…10面
 - テニスコート…2面
 - 卓球…18台
- 温水プール
 - 25m×5コース（付帯施設/ジャグジーバス、探暖室）
- 2階
 - トレーニング室…トレーニングマシン、エアロバイク等
 - 体操室…1壁面 鏡張り
 - ジョギングコース…1周175m
 - 観覧席…315席

屋外施設

- 多目的グラウンド…サッカー1面、グラウンドゴルフ他
- ジョギングコース…1周1200m
- フィットネス広場…フィールド1カ所、鉄棒2基、ワールドトレール3基
- 子どもスポーツ広場…フワフワドーム1基、人工の滝と小川等
- イベント広場
- 駐車場…483台

安中しんくみスポーツセンター
所在地：群馬県安中市安中1531-1
TEL:027-382-2500

スポーツによるまちづくり

体力増強はもちろん、ルールに沿ってフェアに行うことから、スポーツは人権や公平性を自然と身に着けられたり、楽しむことで気分をリフレッシュできたりと様々なメリットがあります。また、日常的なトレーニングを行うことで健康寿命を延ばし、生活の質（QOL）の向上につなげることができます。

スポーツによる地域活性化が重視されている今日、安中市では市のスポーツセンターとなり、「安中しんくみスポーツセンター」を拠点に各スポーツ施設を活用した、スポーツによるまちづくりを推進しています。



安中市役所バレーボール大会



安中スポーツ・健康フェア

2029年には群馬県国民体育大会が開催され、安中市はボクシングとアーチェリー種目の会場になるため、その準備を進めています。また、30年以上の伝統を誇り、全日本綱引選手権大会出場をめざし日々練習に励む「上州坂本宿綱引倶楽部」の活動を支援するなど、市民の主体的なスポーツへの取組みを応援しています。

日本最古のマラソンを復活 スポーツツーリズムを開拓

安中市は「日本マラソン発祥の地」といわれています。江戸時代の安政2（1855）年に、安中藩主・板倉勝明侯が藩士の体力増進と心身の鍛錬のため、安中城内から碓氷峠の熊野神社までの中山道を七里七丁（約29km）走らせたのが始まり。熊野神社神官曾根出羽にその着順を記録させたものが「安政の遠足」で、「日本最古のマラソン」とされています。

昭和50（1975）年に『安政遠足侍マラソン』として復活。ただ順位を競うだけでなく、古事になり武者をはじめ、思い思いのキャラクターに扮した仮装姿で参加する人たちが多く、沿道の人たちも楽しみながら応援でき



るところが親しまれるポイントです。コロナ禍以前の参加人数は1200人前後。県外からの参加も多く、「温泉マーク発祥の地」碓氷温泉をはじめ地元の宿泊施設の利用にもつながっています。

安中市では、こうした地元の観光資源との連動やスポーツ施設の利用で、競技大会や合宿などを誘致するなど、スポーツツーリズムの可能性を拓いていきます。

『安政遠足侍マラソン』は、令和6（2024）年に記念すべき第50回大会を迎え、今からスペシャルな企画が練られています。



温水プール



アリーナ



生涯スポーツ推進の 核となる施設・機能

「安中しんくみスポーツセンター」は、市民個人の体力増進はもちろん、スポーツ団体の活動支援やスポーツ大会の開催や誘致を図るなど、市民がスポーツに親しみ楽しめる環境づくりに取り組む生涯スポーツの拠点です。群馬県信用組合は、それにふさわしい施設や機能の維持管理に取組む安中市を支援しています。



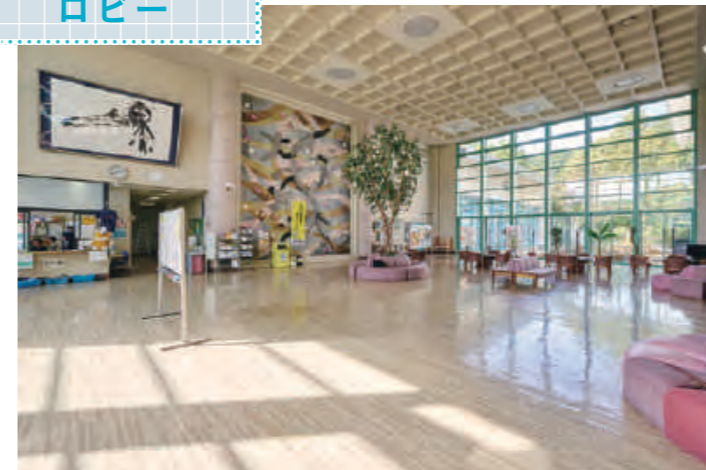
子どもスポーツ広場



トレーニング室



ロビー



多目的グラウンド



体操室



イベント広場

